

## グリコアルブミンに関するお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、このたび試薬販売元より高用量ペニシリン G 投与後のグリコアルブミン測定値への影響について連絡がございましたので、取り急ぎお知らせ申し上げます。

敬白

---

### 記

---

● 対象検査項目 : グリコアルブミン (GA)

● 内容 :

感染性心内膜炎の患者においてペニシリン G の高用量静脈内投与後、「BCP 法」によるアルブミン測定値に影響を与えている例が報告されています。(第 48 回日本臨床化学会年次学術集会(平成 20 年 8 月 29 日~31 日)「ペニシリン G は改良型 BCP 法での血清アルブミン測定に影響を及ぼす:九州大学病院検査部」)

グリコアルブミン測定試薬(商品名:ルシカ GA-L)は測定法として「BCP 法」を使用しています。グリコアルブミン濃度とアルブミン濃度を測定し、グリコアルブミン濃度をアルブミン濃度で除し、比率計算によりグリコアルブミン値(%)を求めます。

製造販売元でのペニシリン G 添加実験の結果、グリコアルブミン濃度及びアルブミン濃度の測定値はともに低値を示しましたが、ペニシリン G による低値化の影響が、グリコアルブミン濃度よりもアルブミン濃度で大きいため、計算により求めるグリコアルブミン値(%)は理論値よりも高値を示すことが判明しました。

つきましては、感染性心内膜炎、敗血症、化膿性髄膜炎等の治療のためにペニシリン G を高用量静脈内投与する場合には、グリコアルブミン値(%)が実際の値よりも高値となることがありますので、臨床症状や他の検査結果とあわせて総合的に判断していただきますようお願い致します。